

平成 25 年度 磐城共立高等看護学院 学校運営評価

当校では、平成 16 年度より学校活動全般に関わる教育の質の向上を目指し学校運営評価に取り組んでいます。「教職員による学校運営評価」と「学院生活に対する卒業時アンケート」の平成 25 年度における結果は以下のとおりです。

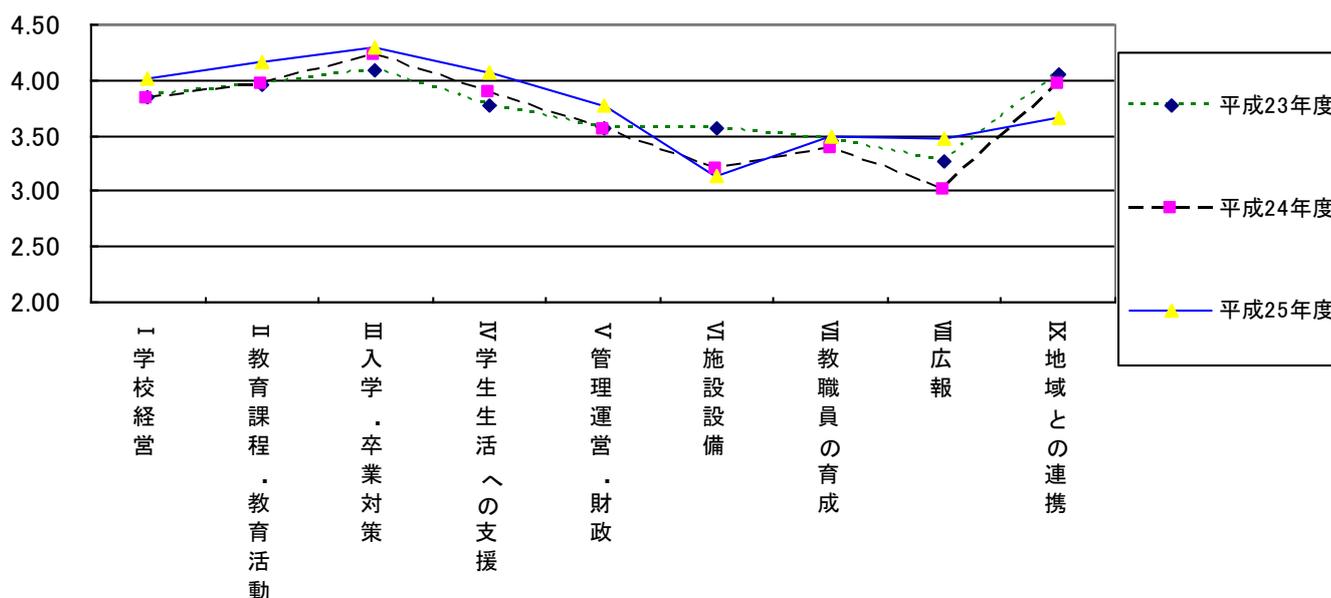
1 「教職員による学校運営評価」

評価の категорияは9領域（全項目48項目）で、「5；できている～1；できていない」の5段階で評価しました。

評価の高いカテゴリーは、Ⅱ教育課程・教育活動、Ⅲ入学・卒業対策、Ⅳ学生生活への支援、Ⅸ地域との連携で、低いカテゴリーは、Ⅷ広報、Ⅵ施設設備でした。これは過去2年間と同じ傾向です。

特に平均点が上昇しているのは、Ⅶ広報でした。昨年度から学校評価結果を保護者の方に公表したことによると思われます。

Ⅵ施設設備が低いのは、スロープや体育館の障害者トイレはあるものの校内に設置されていないことが考えられます。



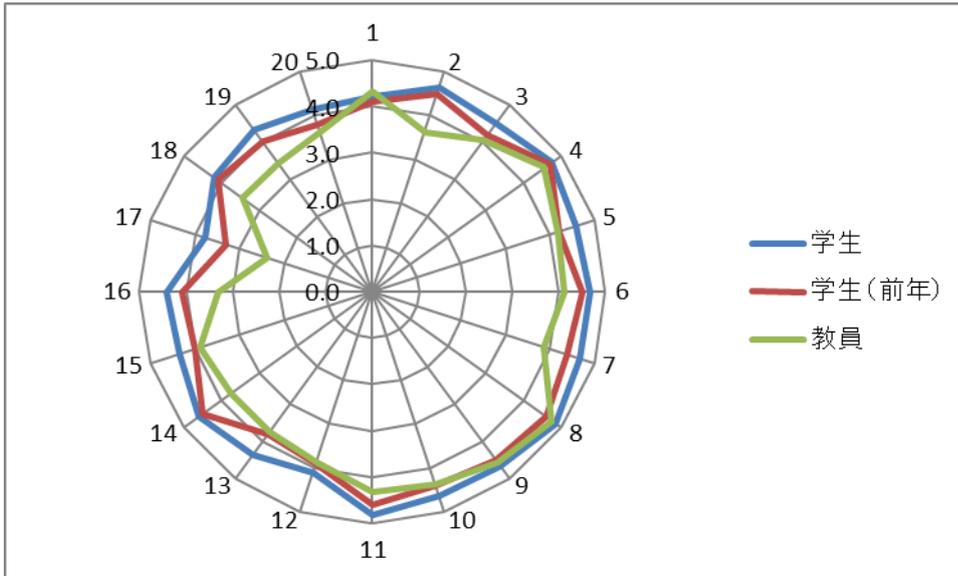
2 「学院生活に対する卒業時アンケート」

学院生活は有意義であったかを把握し、改善点を前向きに検討することを目的に、卒業時にアンケートを実施しました。アンケートの内容は、20項目あり、教職員に行っている学校運営評価の中から項目を抜粋したものです。次頁の図と項目の内容をご覧ください。

学生のアンケートの20項目の平均は4.5で、ほとんどの項目で昨年度の学生の結果(4.2)や教員の結果(3.9)より点数が上回っていました。

平成 26 年度は、学校運営評価について文書での公表を行いました。今後ともよりわかりやすい形での広報活動に取り組んでいきます。また例年と同様に点数の低い施設設備に関する項目については、現状の中で可能な整備をしていきたいと思ひます。

学生と教職員の結果を対比させると以下のようになります。



*「学院生活に関するアンケート」の項目と内容：上記の番号の項目と内容については下記をご参照下さい。

Ⅱ 教育課程・教育活動に関する項目

- 1 学生便覧に記載されているシラバス(授業内容)は、学生が授業内容を理解しやすく、授業内容と一致している。
- 2 授業内容や指導方法が学生レベルにあうよう工夫・改善している。
- 3 実習目標に沿った病棟の選択及び、学習環境・指導体制が整っている。
- 4 実習における患者への倫理的配慮に関するガイドラインを作成し、患者等の同意を得た上で、実施している。
- 5 実習において、学生が関係したインシデント(ヒヤリ・ハット体験、事故報告)等を把握・分析しているとともに、改善策を講じている。
- 6 授業改善に努める目的で、学生による授業評価(講義・臨地実習)を実施している。
- 7 学生指導において、学生に対して人権への配慮がされている。

Ⅲ 入学・卒業対策に関する項目

- 8 国試対策に個々の学生にあった指導・援助を実施するなど教職員一丸となって取り組んでいる。
- 9 学生の進路決定率を高めるよう努めている。

Ⅳ 学生生活への支援に関する項目

- 10 学生の心身面での健康管理体制が整っている。
- 11 学生生活、進学、就職に関して学生の相談に十分応じている。
- 12 学生がボランティアなどの社会活動へ積極的に参加できるよう努めている。
- 13 教育・学習活動に関する情報提供を保護者等に行い、支援を得ることにつながっている。

Ⅴ 管理運営・財政に関する項目

- 14 災害など非常時の危機管理体制が整っている。
- 15 学校運営などに学生の意見が反映されている。

Ⅵ 施設設備に関する項目

- 16 校舎を定期的に点検し、適正な整備を行っている。
- 17 校舎はバリアフリーに配慮された構造になっている。
- 18 教育目標達成に必要な施設、設備及び新しい教材が整っており、活用されている。
- 19 学生のために、休息、親睦及び交流等を行うためのスペースが設けられている。

Ⅶ 広報に関する項目

- 20 看護師養成所としての存在を、十分にアピールする広報活動を適切に行っている。